

5年学年だよ!



被爆体験記朗読会 ～戦争の恐ろしさを実感～

7月8日(月)の3限目に、「被爆体験記朗読会」がありました。

広島から、朗読ボランティア2名の方にお越しいただき、原爆の被害についてのDVDを観たり、被爆体験記や原爆詩の朗読を聞いたりして、戦争の恐ろしさや命の尊さについて学びました。参加者(児童)による原爆詩の朗読というところでは、事前に9人の児童が、朗読したいと意欲的に挙手してくれました。せっかくなので、数人にしぼらず、9人で一番長い詩を分担して読むことにしました。みんなの前で堂々と読んでくれました。中には、暗唱している児童もあり、大変すばらしかったです。

朗読会を終えての感想でも、自主的に何人も発表していました。



理恩さん、侑羽さん、祐毅さん、
あかねさん、瞬星さん、
泰駕さん、成馬さん、煌人さん、
結衣さんの9人が朗読しました。

感想を伝えています。



(児童の感想)

- ・動画を見て、小さい爆弾が何個も落ちていたと思っていたけど、大きな爆弾がいきなり落ちたらおどろくし、怖いだろうなと思いました。話を聞いて、被害にあった人たちのつらい気持ちが分かりました。(七菜さん)
- ・原子爆弾は、1回落としただけでも多くの人の命がなくなっているのが怖いし、戦争は起きてほしくないです。平和なまちでいてほしいです。(凜さん)
- ・石川県に原爆が落ちなくて良かったけど、広島に落ちて、放射線、熱線、爆風とかで人が死んでしまったということで、原爆の恐ろしさが分かりました。(集さん)
- ・最初は、原爆の大変さやどれだけの人が死んじゃうのかも分からなかったけれど、詩や動画を見て、どれだけのつらさを少しは知れたと思います。どれだけの人が死んだかを知って、悲しい気持ちになりました。これからは、みんなが幸せに安心して暮らせるような世界に住みたいです。(芯さん)
- ・たった一発で、様々な人が命を落としているということを知ったら、とても悲しい気持ちになりました。今、私が平和に暮らしているということは、とても感謝しないといけません。私は、戦争なんかなくなればいいのと思いました。(未波さん)
- ・原爆の詩や、動画をみたり聞いたりして悲しい気持ちになって、改めて命はとても大切なものなのだと思います。(佑斗さん)
- ・原子爆弾一つでこんなにたくさんの人の命を奪うなんて知りませんでした。次はもう戦争はなくなってほしいです。(和己さん)
- ・戦争をするということは人を殺す。人を悲しませる。若い人たちが兵士にさせられる。だから、戦争はよくないと思いました。(葵葉さん)
- ・今平和に生きられていることが、当たり前なことじゃないということをいつも頭においておきたいです。何百万人ほど死者がでるのに、どうして戦争をするのかなと思いました。(青葉さん)

戦争のない平和な世界でありますように ✍️☆☆